

(日記帳の中身)

■ Hフ ハクト：(回想のようなエローを掛けたか未定)

//正面 15CM

(クールな感じ)

Track01

「へもいへもべシドを濡らして」めんなさい。

どうしてなんだろう、貴方に触れられてると、オマンコの奥からとめどない量のお潮が勝手に溢れ出できちゃうの。

それはどれだけ我慢しても絶対に止められない。

これを書いてる時もオマンコ、大変な事になつてゐる。

私、どいかおかしいのかな。

今日は貴方と昔の話が出来て本当によかつた。

だつてあの日から、私の時間はずつと止まつたままだつたから。

それがようやく今、動き出した。

こんな私だけど、これからもそばに居わせてもひいたる嬉しい。

Track02
演技が下手くそで「めんなさい。

疑似レイプだつてわかつてても、貴方が私の中にいるつて思つと…身体が勝手に反応して。

だつて、小さい頃から貴方に犯されるのが、私の夢の一つだつたから。

だけど、そんな事言つたら嫌われると思つてずつと言えなかつた。

だから、今日は貴方の方から襲つてくれて、本当に嬉しかつた。

でも、そんな私だからこそ、重くなつた言つて欲しい。

その時は潔く部屋から出でいくから。

『クーデレ系即イキ潮フキお漏らし彼女との全身アケメピロートーク』
台本データ ヒロイン用 Track06 日記帳

嘘、本当は絶対に離れたくない。

死んでも離れたくない…けど。

それ以上に、貴方の重荷にだけはなりたくない。

Track03
貴方の事が大好き…本当に好き。

堪らなく好き…世界中で一番大好き。

本当はこの思いを直接伝えたい。

でも、この気持ちを言葉で伝える事は出来ないから。

日記にだけ書くね。

こんなすぐにイッちやう女、迷惑かもしねない。

重いかもしねない。

すぐに気持ち悪くなるかもしねない。

そんな時、いつでも捨てれるように、この気持ちは心の中に封印しておく。

四葉のクローバーをずっと持つていてくれて、頭がおかしくなるくらい嬉しかった
でも、そんな気持ちを言葉に出来なくて。

小さい頃から何をされても顔色一つ変えない、鉄仮面つていじめられて。

そんな自分が本当に嫌い。

Track04
貴方と再会した日…本当は私、自分で自分を殺そうとしてた。

ううん、機械みたいな私だから、壊そうとしてたが正しいのかもしねない。

だけど、今日、貴方から私は物じやない、一人の人間だつて言われて、なんて答えればいい
いかわからなかつた。

『クーデレ系即イキ潮フキお漏らし彼女との全身アケメピロートーク』
台本データ ヒロイン用 Track06 日記帳

貴方の言葉を聞いていると、なんだか胸の辺りがボカボカする。

ねえ、私は機械じゃないの？ 一人の人間として生きて良いの？

あれから、幸せの意味をずっと考えてた。

だけど、答えは全然出てこない。

だんだん眠くなってきた…もう少し書いたら今日は寝よう。

でも、どうして

これを書いてる時もアソコだけはどんどん熱くなつてくる。

もしかして心が反応しないから、代わりに身体が…。